はだの 議会だより

第262号
令和8年(2026年)11月15日(日)
発行:秦野市議会　編集:議会報編集委員会
〒257−8501 神奈川県秦野市桜町一丁目３番２号
☎0463-82-9652

秦野市議会 検索

こちらからもアクセスできます

主な内容

◆総括質疑・決算審査　２・３面
◆一般質問　４・５面
◆陳情・議案審議　６面
◆政策提言　７面
◆議決結果一覧表　８面

第３回（９月）定例月会議

令和８年９月２日から９月30日までの29日間の日程で開催された第３回（９月）定例月会議の審議結果などをお知らせします。



見学会の締めくくりに記念撮影（本会議場）

子どもたちが議会を体験
～夏休み子ども議場見学会～
議員と一緒に考え、議場で自分たちの提案を発表

令和８年８月８日（土）、小学校３年生から６年生とその保護者14組を対象に、夏休み子ども議場見学会を開催しました。

「学校について」をテーマに市議会議員と対話をして、提案発表を行いました。

名刺交換

最初のお仕事は議長、副議長との名刺交換。顔を合わせて、しっかりとあいさつすることができました。



名刺交換の様子

グループワーク

いよいよ議員とご対面。グループに分かれて自己紹介を行い、テーマについて早速話し合いが始まりました。

学校生活をよりよくするためにはどうしたらよいでしょうか。グループごとに授業、施設、給食、休み時間について、思っていることを出し合い、提案をまとめました。



グループごとに意見を出し合う

施設見学

普段は入ることができない議会の施設を見学しました。正・副議長室では、くずはの家マスコットキャラクター「もりりん」が登場し、子ども議員は議員認定証のバッジを受け取りました。

見学終了後は議長から、修了証書を授与されました。



議場で提案を発表

提案の発表

子ども議長の進行で、グループで話し合った提案を発表しました。

私たちの提案

- 学校までの交差点に信号をつけてほしい
- 休み時間に遊べる遊具を増やしてほしい
- 雨漏りや水道が止まることがないよう、日常的に点検しよう
- 授業態度をよくするために警備員さんをつける
- みんな給食のカレーライスが好きだから、ちがう味のカレーがあるといい

参加者に聞きました！「議場見学会、どうだった？」



つゆき しゅうえい
露木 寿瑛さん
大根小学校６年生

応募したきっかけ
毎年お仕事体験に申し込んでいる。議員体験は初めて申し込んだ。

感想
本会議場での発表が一番良かった。議長の椅子がふかふかだった。



おくむら みすず
奥村 美澄寿さん
本町小学校５年生

応募したきっかけ
昨年度参加してとても良かったので、今年も申し込んだ。

感想
本会議場での提案発表がとても楽しかった。

ほかにも、次のような感想をいただきました。

- 議員さんと話ができて楽しかった
- 発表するのが楽しかった
- いろいろなところに入れてよかった
- 来年もやりたい



正・副議長室を見学

総括質疑

令和７年度の決算審査における総括質疑は９月８日に各会派の代表５人により行われました。
（質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載。）
なお、各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、総括質疑の動画を視聴できます。（通信費は利用者の負担となります。）
※要望は「要」と記載しています。



小山田良弘
（市民創和会）

市民の視点で、市民にとって分かりやすい決算報告を

問　令和７年度決算認定に当たり、市制70周年記念事業の総括、総合計画２０３０プラン後期基本計画策定時の市民意見の反映や課題をはじめ、７年度一般会計の総務費、民生費、衛生費、農林費、商工費、土木費、消防費、教育費および公共下水道事業会計の事業のうち、29項目の事業の取り組みや市民の評価などについて質問し、市長からはそれぞれの事業の実績や課題などについて答弁があった。

問　市民が誇りと愛着を持って暮らせるまちであるための地域資源などの重要な要素とその展開を伺う。

答　何よりもこのまちの魅力を知ってもらうことが大切であり、そのためには森林や名水、歴史・文化などの地域資源の良さを改めて認識し、さらに磨きをかけるとともに、まちづくりへの参加意識をつないでいきたい。

問　市民への有効なアプローチは何か。

答　子どもの頃からの醸成が必要である。広報やイベント、学びの場を通じて触れ合い、感じる機会を増やしていきたい。

要　議案の提案説明や決算に係る主要な施策の成果報告書では、事業を実施した結果については記載されているが、その結果、市民や地域、事業者に対してどのような効果があったのか、また市民からどのような評価を得たのかなどの視点での記載がない。アウトプット（取り組みによって生み出されたサービス）ではなくアウトカム（結果として得られる成果や効果）として事業成果を市民に報告するよう要望する。



中村　知也
（市政会）

「過去最大」の中身を問う

○帯状疱疹ワクチンについて

問　定期接種化に当たり、副反応や健康被害救済制度を含め、どのように情報提供したか。

答　利用券や広報、接種前の説明文書などで、効果に加え副反応や救済制度を周知し、接種は自己判断であることも示した。

要　ワクチン接種は本人の納得が前提である。副反応や健康被害の実態、救済制度の実効性まで踏み込んだ情報提供を求める。

○震生湖の太鼓橋について

問　工期が延長された太鼓橋架け替え工事の進捗はどのようか。

答　工法の変更で工期を延長し、９月末完成へ向けた最終段階。

要　工期延長を経験談で終わらせず、当初の見通しに甘さがなかったかを含めて検証し、他の公共工事に生かすことを求める。

○予算・決算の規模について

要　過去最大という言葉は、規模の大きさをあたかも市民生活の豊かさや市の実力そのものであるかのように印象付けかねない。物価上昇などの避けられない増加分と政策決定による増加分を区分して示すべきである。



古木　勝久
（ともにつくる秦野）

市民の暮らしに役立つ行政運営を

○電子地域通貨ＯＭＯＴＡＮＣＯＩＮの経済効果について

問　具体的な効果はどのようか。

答　地域での活用も広がり、累計決済額などの目標を達成した。

要　店舗の売上率や地域通貨の再支出の動向、経済成長率などの経済指標を用いて、抜本的な基本計画の見直しをしてほしい。

○こども家庭センターの組織体制の見直しについて

問　成果と課題はどのようか。

答　相談員を増員し体制を強化したが、心理的負担の大きさから、職場への定着の難しさがある。

要　こども家庭センターは、子ども相談の要となる重要な機関である。まずは相談員が安定して継続的に支援できるよう、組織体制を強化してほしい。

○多世代交流施設整備事業の取り組みについて

問　成果と課題はどのようか。

答　多世代交流施設整備基本構想を策定したが、市民の関心をさらに高めていく必要がある。

要　市民には施設のイメージが十分に伝わっていない。具体的な情報を積極的に発信してほしい。



横山むらさき
（公明党）

安心とやさしさが届く市政を

○平和意識の普及・啓発について

問　戦後80年が経過し、本市平和都市宣言から40年の節目を迎え、宣言にある非核三原則の堅持について市長の考えはどのようか。

答　改めて核廃絶と恒久平和への願いを共有し、次の世代への平和意識継承に取り組んでいく。

○認知症に関する施策について

問　認知症に優しい社会の実現に向けて、把握した地域課題をどのようにつなげていくのか。

答　身近な相談先の周知を図り、地域支援の体制づくりを進める。

要　難聴者への補聴器助成を求む。

○安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進について

問　産後ケアのニーズが増す中、提供体制づくりはどのようか。

答　産後ケアの量と質の充実に向け、受け入れ先の確保に努めた。



高橋　文雄
（はだの清流クラブ）

決算状況５分野９項目の質疑

○健康で安心して暮らせるプロジェクトについて

問　「名水サミット ｉｎ はだの」の取り組みと事業効果は。

答　有識者による基調講演や豊かな自然と水の恵みに触れ合う体験などを通じ、名水の魅力や地下水保全の重要性を市内外に発信できた。

問　人生百年時代の取り組みは。

答　誰もが生き生きと暮らすには食事・運動・睡眠の改善を進め、特に働く世代は若いうちからの健康づくりが重要で効果的なため、健康長寿対策に努める。

要　引き続き環境づくりに尽力を。ほか、教育水準の維持向上対策や小田急線４駅周辺にぎわい創造プロジェクト、渋沢丘陵周辺土地利用構想の進捗状況、上下水道耐震化について質問した。

討論　こんな理由で、賛成 or 反対

令和７年度一般会計決算の認定について、各会派などが態度を表明し、その理由を述べました。（討論者の文責により、要旨を掲載しています。）

市民創和会（小山田良弘議員）　賛成



市民創和会では７人のメンバーが、７年度決算について延べ１００におよぶ事業を慎重に審議した。主な成果としては、市制70周年記念事業や若者の意見を反映した総合計画の策定、行政サービス改革ＰＤＣＡサイクルの毎年見直し、民間資本によるスポーツ拠点整備、母子健康手帳アプリによる妊婦の負担軽減、移住定住促進による人口の社会増、救急救命士による高度救命処置のほか、インター周辺整備事業、菩提横野線街路築造事業といった建設事業費などの必要な投資を積極的に行う一方、健全な財政指標や基金を確保し、将来のまちづくりへの投資と持続可能な財政運営が両立されていることから、７年度決算認定に賛成する。

市政会（中村知也議員）　賛成



南公民館と南小学校の複合化方針を評価し、令和７年度決算の認定に賛成する。学校としての役割を終える広畑小学校は、地域の思いを受け止め、新しい学校整備と跡地活用を一体の計画として丁寧に進めるよう要望する。一方、市長車運用の在り方は、公務の移動の過程で国政候補者の出陣式などへの訪問が含まれる場合もあることを踏まえ、公務と政務の区分基準の明文化、運転日報への用途記載、記録保存期間の延長を求める。

公明党（横山むらさき議員）　賛成



物価高騰対策や未来に向けた布石を打たれていることから、決算認定に賛成する。市制70年の節目を迎え、わがまちの誇りと愛着を深められた。市債は後年の負担とならぬよう認識を高めた財政の健全化を求める。積立基金に関し、現金価値が下がる中、※ＥＳＧ債などの債券運用も検討されたい。市民の幸福と平和のため、誰もが輝く暮らしよいまちの実現を願う。

無所属議員（吉村慶一議員）　賛成



全額国庫補助の物価高騰対策が低所得者向けから全市民向けになり、低所得者への支援が激減した点は反対だが、その他はおおむね賛成のため、決算認定に賛成する。

（石川潤議員）　反対



震生湖太鼓橋架け替え工事の契約変更による増額および登録者のみが恩恵を受けるＯＭＯＴＡＮＣＯＩＮのポイントバックキャンペーンへの臨時交付金充当に反対する。

各会派などの討論
視聴できます。

用語解説　※ESG債…環境課題や社会的課題の解決に向けた事業への資金を調達する債券。

令和７年度決算を慎重に審査

会議録検索システム

一般会計、３特別会計（国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業）、２企業会計（水道事業、公共下水道事業）に係る令和７年度決算審査を行いました。

審査は３つの分科会（総務、文教福祉、環境都市）で、それぞれの所管事業ごとに行いましたので、その要旨をお知らせします。

総務分科会

所管：政策・総務・くらし安心・文化スポーツ・消防など

「広報はだの」等発行事業費

問 新聞を購読しない家庭が増える中、広報はだのの発行部数および新聞折込の状況は10年前と比較してどのようか。また、デジタル版広報はだのの登録者数の動向はどのようか。

答 10年前と比較し、発行部数は約１万３５００部の減少、新聞折込は約２万３０００部減少した。一方、スマートフォンで閲覧できるアプリの登録者数は、令和５年度、６年度ともに約６００人増加するなど、着実に市民に広がっている。



通学路安全対策事業費

問 通学路の安全対策として、小・中学校などからの要望に基づき、啓発看板や路面シールの設置に取り組んだとのことだが、啓発看板の設置に当たっては、どのような点に留意して進めているのか。

答 啓発看板などは、内容を伝え実際の行動につなげることが重要であるため、現地を確認し、安全性を確保しつつ啓発効果が期待できる場所・方法を選定し、設置している。また、子ども向けには目線の低さを意識し、路面シールも活用している。

要 自治会を中心とした地域で見守り活動を行っている人たちからも、対策が必要な箇所の聞き取りを行い、安全確保に努めてほしい。



秦野市・伊勢原市共同消防指令センター運営費

問 令和７年度に本格運用を開始したが、両市の消防が一つの指令センターで対応するに当たり、運用上どのような課題があり、その解決に向けてどのような工夫を行ってきたか。

答 両市の部隊編成や運用方法の統一が課題であったため、各種の基準を作成し、ルールの統一を図った。また、※コールトリアージや簡易指令装置を導入するなど、大規模災害に備えた体制を構築した。



文教福祉分科会

所管：福祉・こども健康・教育

地域共生推進事業費

問 ※８０５０問題や孤独・孤立、生活困窮など複合的な地域生活課題が増加する中、住民が抱える課題に対応する職員の確保や、専門的な支援体制の整備への取り組みはどのようか。

答 地域共生支援センターに幅広い知識や経験を有する職員を配置するとともに、専門家からのアドバイスによるケース検証を行い、支援力の向上に努めている。また、関係部署の横断的な研修会を実施することで、庁内全体のスキルアップにも取り組んでいる。



自殺予防対策事業費

問 令和７年における全国の児童・生徒の自殺者数が統計開始以降過去最多となる中、若年層を対象とした自殺対策の取り組み状況はどのようか。また、ＳＮＳなどによる影響が考えられるが、対策はどのようか。

答 市内中学生・高校生を対象に、ＬＩＮＥ相談窓口を記載した案内カードを配布し、早期にＳＯＳを発信できるよう啓発している。また、保健師などによる健康教育を実施する際に、ＳＮＳの長時間利用による心身への影響などを説明し、トラブル防止を含めた適切な利用について考える機会としている。



インクルーシブな学校運営モデル構築事業費

問 秦野支援学校と末広小学校が同じ敷地内にあるという教育環境を生かし、新たに取り組んだ共通カリキュラムの内容と、年間を通じた共同学習の成果および今後の展開はどのようか。

答 教科の枠にとらわれず同じ場所で学ぶ共通カリキュラムにより、支援学校の児童が安心して学べるようになったほか、小学校の児童も自然な形で多様性を受容している。今後は研究成果を市内で共有し、子どもたちに共生社会の意識が芽生えるよう、継続して取り組む。



環境都市分科会

所管：環境産業・建設・都市・上下水道など

「農」の担い手育成支援事業費

問 令和８年度の秦野市農業協同組合の要請書には、国や県の補助事業を農業者が活用できるよう、早期の周知を求める旨が記載されているが、７年度の状況と今後の対応はどのようか。

答 ７年度の国の補助事業には、急きょ実施が決定され、申請期間が短いものがあった。このため、補助事業に関する情報を入手した段階で、秦野市農業協同組合などの関係機関と連携し、農業者へ速やかに周知できるよう努める。



公共交通推進事業費

問 地域公共交通の確保維持を図る乗合タクシーの運行支援について、アンケート結果を基に地域懇談会などで協議し、運行方針を共有したとのことだが、地域からはどのような声があり、どのように進めたのか。

答 乗合自動車の存続や運行ルート・ダイヤの改善要望などがあった。これを受け、上地区では便数や停留所の統廃合により効率化を図る一方、通学時間帯の直行便を新設して利便性の確保に努めた。また、大根地区では要望の多かったスーパーを経由する新ルートの運行開始に向けて準備を進めている。



建設改良費

問 県水を送水する幹線管路の整備を最重要事業として進めているとのことだが、県水は、地震などの大規模災害時に本市の主要水源である地下水からの配水が困難となった際、重要なバックアップになると認識している。この幹線管路耐震化の進捗状況はどのようか。

答 耐震化の進捗状況は、令和７年度末で約８．５キロメートルが完了し、進捗率85％となっている。また、８年度は、上大槻地区と西大竹地区で耐震化を進めており、上大槻送水ポンプ場の稼働に合わせ、今後も計画的かつ着実に進めていく。



用語解説
※コールトリアージ…119番通報の受信時に通報内容から緊急度を判断し、出動の優先順位を決定すること。
※8050問題…80代の親が50代の子どもの生活を支えるために、経済的にも精神的にも強い負担を抱え込むという社会問題。



本市のバリアフリーについて



石川　潤
（無所属）

問　本庁舎、公民館、教育施設、道路、都市公園のバリアフリーの現状は。

答　本庁舎はみんなのトイレ、個室トイレ、エレベーターを改修済み。各公民館は手すり、スロープ、点字ブロックを設置済み。本町小学校と各中学校にエレベーターを設置している。一般市道は歩道の段差や勾配の改善を行い、カルチャーパークとおおね公園の大部分は基準に適合済み。

問　課題と対策は。

答　本庁舎は、車椅子利用者の動線が一部狭くなることが課題。教育施設は、令和８年度に階段昇降機を試行している。道路は通学路の安全対策や歩道の新設・拡幅を行い、まとまった損傷箇所は路線として補修する。



流れを止めない災害対応を



阿蘇　佳一
（市民創和会）

問　７月の熊本地震は死者38人、住宅被害約３万６千棟、８月の千葉豪雨は死者13人、住宅被害約６２００棟、車の立ち往生２５００台を教訓に、①避難所のトイレや着替えなどの対応、②災害関連死対策、③災害ごみへの対応、④崖崩れ対策、⑤道路冠水による車の立往生の対策はどうか。

答　①トイレの整備と空き教室の利用などによるプライバシーの確保、②簡易ベッドやテントの整備、宿泊施設などへの二次避難対応、③おおね公園など一次仮置場として６か所設置、④崖崩れ対策は19か所が完了し、残り３か所を工事中、⑤庁内関係部署や事業者と連携して道路機能の確保に努める。

投票率の向上について



中村　英仁
（公明党）

問　イオン秦野ショッピングセンターでの期日前投票は活況で、市民から日数を増やしてほしいという声を聴くがどうか。

答　投票環境のさらなる向上を図る観点から有効な方策と受け止めている。

問　近年、選挙当日に指定された投票所以外でも投票できる共通投票所を導入している自治体が出てきている。こちらも、市民から導入できないかとの声を聴くがどうか。

答　投票機会の拡大につながると考えるが課題もある。現時点では、導入している自治体の事例を研究していきたい。

要　市民の投票機会を減らさないためにも、ぜひ検討してほしい。

質問



議員が登壇しました。

の動画を視聴できます。（通信費は利用者の負担となります。）

成AIに
いてみた！

4 環　境　　5 自治会　　6 学　校

結果となっています。

▲紙面アンケートはこちら

安心できる子育てから自分らしい終活の迎え方とは



風間　正子
（市政会）

問　令和８年度の施政方針に掲げる女性ヘルスケアセンターの進捗は。

答　８年度に開設する市内宿泊型産後ケア施設を足掛かりに、女性のさまざまな悩みを相談できるコンシェルジュ機能を備えた女性ヘルスケアセンターへ発展させていく。

要　女性の生涯にわたる健康課題に対応できるよう、速やかな実施を望む。

　ほか、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活を続けるための在宅医療と介護の連携や、自分らしい人生最期の迎え方を家族で共有しておくことの重要性について、また、耐震化に向けた住宅の改修補助制度の周知について質問した。



中学校部活動の地域移行について



大塚　毅
（市民創和会）

問　本市では県内に先駆け地域移行を進め、着手率が86％となっている。学区内に希望する部活動がない場合、在籍校を変えず部活動を選択できる仕組みの導入について見解はどうか。

答　学区内に希望する部活動がない場合は指定校変更で対応しているが、今後は地域を越えて希望する活動を選択できる環境づくりを進める。

要　ほか、秦野丹沢ＳＡについて、ぷらっとパーク、ヘリポート、名水ＰＲ設備などの市民への周知状況を確認し、市民も利用しやすいドッグランの設置を要望した。また、戸川公園の未整備区域は10月末に暫定整備を完了し、県が事業者への市場調査を行うことを確認した。



放課後等デイサービスの現状認識について



横溝　泰世
（市民創和会）

問　放課後等デイサービスは平成24年に制度化され、時代の変化とともに民間企業の参入など、ここ数年で事業者数は急増した。一方で、一部事業者による不適切な運営が問題視され、厚生労働省は支援の基本活動を定めたガイドラインを策定した。今後、高い専門性を持つ療育の場を適切に運営する環境づくりが急務と考えるがどうか。また、学童保育と併用できる環境づくりはどうか。

答　現状や課題は把握している。今後は専門性の確保と質の向上に努め、学童保育でも障害のある児童の受け入れが進むよう研修などを行い、児童が安心できる環境を整備する。

暮らしを支える支援の充実を



間地　薫
（公明党）

問　がん検診受診率向上の取り組みと※アピアランスケア助成の見解は。

答　電子申請や女性限定検診を実施した。助成制度は、他自治体の事例を調査・研究し、検討していく。

要　全国自治体の78％で助成が進む。自分らしく生きられる支援の充実を。

問　夏休み中の子どもの居・食・涼の確保について見解は。

答　社会福祉協議会が地域と連携し、居場所と食の提供を２会場で実施した。子どもが困らない環境づくりをさまざまな主体と連携し進めていく。

問　※手話リンク導入の見解と手話通訳者の配置状況はどのようか。

答　障害福祉課窓口に週４日配置。手話リンクは導入に向け検討していく。

用語解説　※アピアランスケア…医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア。
※手話リンク…聴覚や発話に困難のある人が通訳オペレーターを介して手話で電話をかけられる「電話リレーサービス」を使用したサービス。

一般

一般質問は、9月18日、24日、25日の3日間で行われ、14人の議
（質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載。）

なお、各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の
※要望は「要」と記載しています。



一般質問発言ワードランキング

生成
聞い

1 子ども　2 支　援　3 地　域

※定型表現を除外し、純粋な政策に関係するキーワードに絞って検索した



多世代交流施設と財政について



田中めぐみ
（ともにつくる秦野）

問 市民の意見を把握するため、多世代交流施設について個別のアンケートを実施したか。また、市民のニーズをどのように把握しているか。

答 多世代交流施設そのものを対象としたアンケートではなく、「秦野駅北口周辺の中心市街地活性化の取組」についてのWebアンケートの中で調査を実施した。また、パブリック・コメントやまちづくり懇談会などで市民の意見収集を行い、計画案の見直しにつなげている。

要 説明会やワークショップの市民参加者数が来場見込数に届かなかったため、その要因や情報伝達度を分析し、時代に合った行財政運営の実施を要望する。

秦野駅周辺のにぎわい創造について



福森　真司
（市民創和会）

問 新設された南地区商店会をはじめ、自らまちを元気にしようと挑戦する市民や青年経済人への伴走支援と、駅周辺の魅力的なまちづくりに向けた今後の取り組みはどのようか。

答 南口・北口それぞれの地域特性を整理し、将来像を多様な主体とともに検討する。地域が取り組むイベントやアイデアの実現に向け、協議などを積極的に支援していく。

要 挑戦する市民や事業者の情熱に行政がしっかり寄り添い、ともに活気あふれる秦野を創造してほしい。
　ほか、ふるさと納税のPDCAサイクルと事業者支援体制の強化、市有未利用地を活用した大学連携や新産業創出への挑戦について質問した。

商店街の街路灯の未来を全庁で検討し、にぎわいのあるまちづくりを



桑原　昌之
（ともにつくる秦野）

問 店舗減少と老朽化が進む中、過剰な街路灯の維持・撤去費が商店会などの運営を圧迫し、商業活性化の妨げとなっている。商店街の存続に向け市はどう支援するのか。

答 電気料金の全額補助などで負担軽減を図りつつ、共同管理の検討や、過剰な街路灯の適正化を後押しする。また、近隣自治体と連携し、国・県に対して修繕・撤去費用の支援制度創設を要望していく。

要 4駅のにぎわい創出や中心市街地活性化など、今後のまちづくりに直結する重要課題である。商店会任せにせず、全庁的な検討と支援を一刻も早く進めてほしい。



カスハラから市職員を守る



八尋　伸二
（市民創和会）

問 令和8年10月1日から改正労働施策総合推進法が施行されカスタマーハラスメント対策が義務化される。本市では職員提案により名札を「名字のみ（平仮名・ローマ字表記）」に変更したが、効果はどのようか。

答 市職員からは「インターネット検索される心配がない」などの声があり勤務環境の改善に効果が出ている。

問 電話対応時の音声ガイダンスや自動録音の導入検討はされているのか。

答 庁内の電話設備更新に合わせて導入の検討を進める。

要 全庁的な電話設備更新に合わせると遅くなるため、優先度が高い部署から先に導入するなど、市職員を守るため迅速な対応を検討してほしい。



庁舎・新たな産業用地は次の一手を



小菅　基司
（市政会）

問 築57年の本庁舎などの維持管理は、財政負担を見据えた方向性を持つ必要がある。職員の労働環境の改善も踏まえ、どのように取り組むか。

答 給排水管などの設備を計画的に更新し、総合計画後期基本計画において庁舎の在り方の検討を進める。

問 将来的な交通の優位性を見据え、企業誘致の推進が必要であると考えるが、産業用地の確保に対する認識はどのようか。

答 本市の経済成長および地域活性化に直結する重要な柱として、スピード感を持って着実に推進する。

要 インターチェンジ予定地周辺道路の整備など市の役割を果たし、迅速に次の一手を打つことを要望する。



クビアカツヤカミキリの対策について



原　聡
（ともにつくる秦野）

問 桜や梅、桃などを枯死させる特定外来生物クビアカツヤカミキリが、隣接する中井町でも確認された。本市の桜は観光や農業・産業にも関わる大切な財産である。市内で確認された場合の初動体制や民有地への支援、人員・財源の確保についてはどのようか。

答 発見地点から1キロメートル圏内を重点的に調査し、3キロメートル程度までを警戒区域としてモニタリングする。民有地については、公益性や緊急性、被害拡大防止効果などを踏まえ、公費による対応の必要性を判断する。

要 発生前の今こそ全庁・地域が直ちに動ける初動体制構築と※フラス発見者への報奨金制度の創設を求める。

東庁舎を早急に建て替えよ



吉村　慶一
（無所属）

問 東庁舎の耐用年数と必要な修繕費などはいくらか。

答 令和15年までの7年間で9100万円の費用がかかると試算している。

問 劣悪な職場環境、バリアフリー化の必要性、本庁舎1階窓口の混雑などの問題を考えると、リース方式で西庁舎の隣地に建て替えてはどうか。

答 庁舎の建て替えは総合計画後期計画において、8年度から中長期的視点で検討する位置付けとしている。

要 東庁舎の建て替えで解決されるこれらの問題は待ったなしである。総合計画に未記載の多世代交流施設建設が本市の最大の政治課題になり、市長選挙の争点になった例もある。問題解決の先延ばしはやめてほしい。

用語解説　※フラス…カミキリムシなどの昆虫が樹木の内部を食い荒らしたときに排出する、おがくず状のもの。

陳情

↑電子申請もできます

国に対し、※OTC類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情は不採択

令８陳情第７号・第10号　国に対し、OTC類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情書

▼付託委員会
文教福祉常任委員会

▼委員会での主な意見
意見　今回の法律の見直しに当たっては、患者負担や受診抑制への配慮が明確に示されているため、現段階で国に実施の見送りを求める意見書の提出はなじまないことから、不採択とすべきである。
意見　受診控えによる健康被害や経済的負担の増加、医薬品の適正使用が困難になることで、高齢者などの生活を圧迫し、適切な医療が受けられなくなる可能性があるため、採択すべきである。

▼採決の結果
委員会　不採択（賛成少数）
本会議　不採択（賛成少数）

加齢性難聴対策を求める陳情を可決

令８陳情第８号　神奈川県補聴器助成制度を活用して加齢性難聴対策を求める陳情書

▼付託委員会
文教福祉常任委員会

▼委員会での主な意見
意見　補助事業の継続性や市の財政への影響、購入後のサポート体制など、慎重に検討すべき課題はあるものの、高齢者の聞こえに対する不安を解消し、認知症リスクの軽減や社会参加につなげることの重要性を踏まえると、補聴器購入支援を求める趣旨は十分に理解できるため、採択すべきである。

▼採決の結果
委員会　採択（賛成全員）
本会議　採択（賛成全員）



非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情は趣旨了承

令８陳情第９号　非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

▼付託委員会
総務常任委員会

▼委員会での主な意見
意見　非核三原則は、本市の平和都市宣言にも掲げられた重要な原則であり、見直しを求める動きや核兵器の使用が懸念される昨今の国際情勢があるため、採択すべきである。
意見　非核三原則の尊重は現時点で既に行われており、陳情事項には将来にわたり堅持する旨が明確に示されていないため、趣旨了承とすべきである。

▼採決の結果
委員会　趣旨了承（賛成多数）
本会議　趣旨了承（賛成多数）

議案審議

中村知也議員に対する辞職勧告決議を可決

議提議案第４号　市民に信頼される議会のために、中村知也議員に辞職を勧告する決議について

▼主な内容
中村知也議員による、SNSでの同僚議員や県議会議員への中傷的な投稿、市民との会食および市内公的団体の懇親会における不適切な対応などの複数の行為について、政治倫理審査会で審査された。
その結果、全ての行為が政治倫理基準に違反すると認定されたことを踏まえ、議長において、二度にわたり辞職勧告を行った。
しかし、その後もこの措置を重大なことと認識しているとは思えない行動が続いていることから、市民の代表である議員とはどうあるべきかを市民とともに考える契機とするため、中村知也議員に辞職を勧告することについて、決議するもの。

▼採決の結果
本会議　原案可決（賛成多数）

中村知也議員に辞職勧告

令和８年６月５日に市政会を除く会派代表者４人から議長に、中村知也議員の行為に関する調査請求書が提出されました。
「秦野市議会議員政治倫理審査会（以下「審査会」という。）」において、５回にわたり審査した結果を踏まえ、８月28日に議長が中村知也議員に対し、次のとおり措置を行いました。

調査請求の内容

1　飲食代金一時未払いおよび審査会委員長宛文章について
(1)　令和８年１月22日に有志で会食した際の飲食代金について、４月21日開催の審査会で指摘されるまでの一定期間、市民が対象議員の飲食代金を支払っていること。
(2)　４月21日付けで審査会に提出した文章の内容は虚偽の可能性があること。
2　市内公的団体の懇親会における言動について
同年１月開催の市内公的団体の懇親会の席において、出席者１人と口論になり暴言を発するとともに、離れようとした相手の腕をつかみ引っ張る行為をしたこと。

＜措置内容＞
調査請求された事案は、「市民全体の代表者としての品位と名誉を損なうような一切の行為を慎む」という政治倫理基準に違反する行為であると認定し、中村知也議員に対して辞職勧告を行いました。

※ここに記載した内容は、その一部を抜粋し要約したものです。詳しくは、市議会ホームページに掲載しています。

議長公務（9月～11月）

より詳細な公務日程は、市議会ホームページでも公開しています。



秦野たばこ祭のにぎわいに、地域の伝統と結束を感じました。これからも郷土の誇りと伝統を未来へつなぐ取り組みを、議会として支えていきたいと思います。
相原　學議長

○９月
26日（土）～27日（日）　第79回秦野たばこ祭

○10月
３日（土）　第59回秦野市社会福祉大会
18日（日）　美・緑なかいフェスティバル2026
30日（金）　神奈川県市議会議長会正副議長研修会及び第217回定例会
31日（土）　平塚保健福祉事務所秦野センター竣工式

○11月
３日（火）　第47回秦野市市民の日・秦野市功労者等表彰式

第４回（12月）定例月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
11/22	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25	11/26 開議・提案説明 9:00～	11/27	11/28
11/29	11/30 議案審議 9:00～	1	2 総務常任委員会 9:30～	3 文教福祉常任委員会 9:30～	4 環境都市常任委員会 9:30～	5
6	7 議会運営委員会 9:30～	8 一般質問 9:00～	9	10	11 予備日	12
13	14	15 予算決算常任委員会委員長報告・議案審議・散会 9:20～	16	17	18	19

※朱書は本会議場で行われるものです。会議の日程、時刻は変更することがあります。

≪７月第１回臨時会議の議決結果（※議長は採決には加わりません。）≫ 財産の交換についてなどを審議するため、臨時会議が７月30日に開催されました。

○：賛成　●：反対

区分	番号	件名（詳しくはこちら）	採決の結果	市民創和会							市政会				ともにつくる秦野			公明党			はだの清流クラブ		無所属		
				八尋伸二	横溝泰世	阿蘇佳一	大野祐司	福森真司	小山田良弘	大塚毅	小菅基司	風間正子	川口薫	中村知也	古木勝久	原聡	桑原昌之	田中めぐみ	横山むらさき	中村英仁	間地薫	今井実	高橋文雄	相原學	吉村慶一	石川潤
市長提出議案	第38号	財産の交換について（企業立地に向けた土地の交換）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
	第39号	和解について（名水はだの富士見の湯に関する裁判に対する和解）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○
	第40号	令和８年度秦野市一般会計補正予算（第２号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
議員提出議案	第２号	特別市法制化に反対する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	第３号	特別市法制化に反対する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

用語解説　※OTC類似薬…医師の処方箋が必要な「医療用医薬品」のうち、ドラッグストア等で処方箋なしに買える市販薬と成分や効能・効果がほぼ同じ薬のこと。

あの提言、どうなった？ 令和7年の政策提言をフォローアップ!

全体の内容はこちら



◎政策提言とは？

市民の皆さまの暮らしに関わる課題について、議会では所管事務調査や意見交換会などを通じて調査・研究しています。そこで見えてきた課題の解決に向け、市に対して「こんな取り組みを進めてほしい」と提案するのが政策提言です。

議会の提言
各常任委員会で調査・研究し、政策を提案

→

市の取り組み
市が施策として検討・実施

→

議会が確認
提言に関連する事業の進捗状況を確認、必要に応じて要望

令和７年に市へ提出した第２回政策提言について、提言に関連する 19 事業の進捗状況などを調査（政策提言のフォローアップ）した結果、４事業が拡充、15 事業が継続して取り組まれていることを確認しました。

令和８年９月４日に、さらなる施策推進の一助となるよう、取り組み状況の確認結果や、それに対する議会からの意見・要望を取りまとめ、市長に提出しましたので、一部をご紹介します。詳細については、秦野市議会ホームページをご覧ください。

総務常任委員会

防災情報をもっと身近にもっとわかりやすく



【提案内容】
防災情報システムをより多くの人に周知して活用してもらい、要支援者への支援や住民主体の防災マップづくりを進めてはどうか。

【市の取り組み状況】
スマートフォン講座や防災講習会、動画配信などで周知を進めた。併せて、個別避難計画の作成や防災マップづくりの支援も実施した。

【議会の意見】
災害時に役立つよう、普段から使いやすい仕組みにし、地域で支え合う防災をさらに進めてほしい。

文教福祉常任委員会

子育てしやすく世代を越えてつながるまちへ



【提案内容】
子育て支援を充実させるとともに、多世代が自然に交流できる場をつくってはどうか。

【市の取り組み状況】
多世代交流施設の整備に向けた取り組みを進めたほか、こども家庭センターや「ぽけっと21」での相談支援、子どもの居場所づくりへの支援を実施した。

【議会の意見】
地域の実情に合わせて、子どもや子育て世帯が安心して過ごせる場をさらに広げてほしい。

環境都市常任委員会

働く場づくりと企業支援で、地域の力を高める



【提案内容】
人材の確保や柔軟な働き方への支援を進めるとともに、時代の変化に合った企業支援をしてはどうか。

【市の取り組み状況】
就職相談会や学生と企業の交流機会、OMOTAN ポイントを活用した地域活動支援を実施した。また、農業ボランティアのマッチング支援なども継続して実施した。

【議会の意見】
取り組み内容や成果を市民にわかりやすく伝えながら、働く人と企業の双方を支える取り組みをさらに進めてほしい。

神奈川県弁護士会との懇談会を開催しました

令和８年 10 月 19 日（月）、神奈川県弁護士会の皆さまと、昨今の地域に関わる司法の動向（民事訴訟手続きのデジタル化など）について意見交換を行いました。





令和８年熊本地震 被災者支援のため募金活動を実施

令和８年８月 17 日（月）、市内小田急線４駅において、令和８年熊本地震義援金の募金活動を実施しました。

多くの皆さまのご協力により、12 万 115 円の義援金が集まり、熊本県に送金しました。

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の１日も早い復旧・復興をお祈りいたします。





９月定例月会議の議決結果

９月定例月会議では、議案４件が認定、２件が可決および認定、７件が原案可決、２件が同意、陳情１件が採択となりました。
※賛成全員または賛成なしの議案等を上段に、賛否が分かれた議案等を中段に、決算に係る採決の結果を下段に記載しています。（資料は、秦野市議会ホームページでご覧いただけます。）

詳しくはこちら

≪賛成全員または賛成なしの議案等≫

区分	番号	件名	採決の結果
市長提出議案	第50号	令和８年度秦野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）を定めることについて	可決
	第51号	令和８年度秦野市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）を定めることについて	可決
	第52号	令和８年度秦野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）を定めることについて	可決
	第53号	秦野市副市長の選任について（髙橋正道氏を再任）	同意
	第54号	秦野市固定資産評価審査委員会の委員の選任について（鈴木次良氏を再任）	同意
陳情	令８陳情第６号	奥山再生を求める陳情書	不採択
	令８陳情第８号	神奈川県補聴器助成制度を活用して加齢性難聴対策を求める陳情書	採択
報告案件（8件）		専決処分の報告について（交通事故に係る損害賠償、市道の管理瑕疵に係る損害賠償（５件）、工事請負契約の変更）／令和７年度秦野市健全化判断比率及び資金不足比率について	

≪賛否が分かれた議案等（※議長は採決には加わりません。）≫

○：賛成　●：反対　欠：欠席

区分	番号	件名	採決の結果	市民創和会							市政会				ともにつくる秦野				公明党			はだの清流クラブ		無所属		
				八尋伸二	横溝泰世	阿蘇佳一	大野祐司	福森真司	小山田良弘	大塚毅	小菅基司	風間正子	川口薫	中村知也	古木勝久	原聡	桑原昌之	田中めぐみ	横山むらさき	中村英仁	間地薫	今井実	高橋文雄	相原學	吉村慶一	石川潤
市長提出議案	第47号	指定管理者の指定について（秦野市文化会館）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	議長	○	●
	第48号	指定管理者の指定について（はだの丹沢クライミングパーク）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	●
	第49号	令和８年度秦野市一般会計補正予算（第３号）を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	●
議員提出議案	第４号	市民に信頼される議会のために、中村知也議員に辞職を勧告する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	除斥※1	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		○	○
陳情	令８陳情第７号	国に対し、ＯＴＣ類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●		○		●	○
	令８陳情第９号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	趣旨了承※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○		○		○	●
	令８陳情第10号	国に対し、ＯＴＣ類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情書	不採択	みなし不採択※3																						

※1… 本議会における審議の公正を期すために、審議案件と一定の利害関係のある議員は、審議に加わることができない制度。
※2… 令8陳情第９号は、趣旨了承とすることについて賛成・反対を諮ったものです。
※3… 令8陳情10号は、令8陳情第7号と同趣旨の陳情であるため、不採択とみなして処理したものです。

令和７年度決算に係る採決の結果

○：賛成　●：反対　欠：欠席

区分	番号	件名	採決の結果	市民創和会							市政会				ともにつくる秦野				公明党			はだの清流クラブ		無所属		
				八尋伸二	横溝泰世	阿蘇佳一	大野祐司	福森真司	小山田良弘	大塚毅	小菅基司	風間正子	川口薫	中村知也	古木勝久	原聡	桑原昌之	田中めぐみ	横山むらさき	中村英仁	間地薫	今井実	高橋文雄	相原學	吉村慶一	石川潤
市長提出議案	第41号	令和７年度秦野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	○	議長	○	●
	第42号	令和７年度秦野市水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	●
	第43号	令和７年度秦野市公共下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	●
	第44号	令和７年度秦野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	●
	第45号	令和７年度秦野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	●
	第46号	令和７年度秦野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○		○		○	●

広告

どこに相談すればいいのか？とお悩み解決の第一歩
お家の外回りのお困りごと・・・ご相談ください。
個人宅から集合住宅まで対応いたします
見積無料
・土間コンクリート工事　・駐車場整備工事
・フェンス工事　・ブロック工事
・土木工事一式　・外構工事
SAKAMOTO KENSETSU
株式会社 坂本建設
〒257-0003　秦野市南矢名 437-4
TEL：0463-77-5555

広告

社会福祉法人 かしの木会
くず葉学園
一人ひとりの想いに寄り添い、
その人らしい暮らしを支えます。
事業内容
障害者支援施設（入所）
通所支援事業所
相談支援事業所
神奈川県秦野市菩提 2058-2
Tel. 0463-75-3221
Fax 0463-75-2550
E-mail：kuzuha-gakuen@leaf.ocn.ne.jp

◆次回の議会だより（令和9年2月中旬の日曜日発行予定）は、第４回（12月）定例月会議の概要などをお知らせします。